

Wi-Fiカメラ 接続かんたんガイド

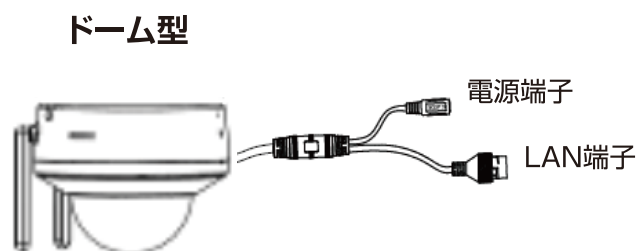
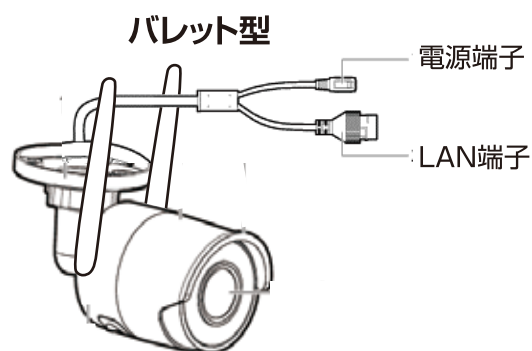
同梱品

パッケージには下記の付属品が同梱されています。

- ① 本体 ×1台
- ② ACアダプター ×1
- ③ クイックスタートガイド ×1
- ④ カメラ取付ネジ(φ4×25mm)・プラスチックアンカー ×1式
- ④ LANコネクタ防水キット ×1式
- ⑤ ドリルテンプレート ×1枚※
- ⑥ 天井取付プレート ×1個※

※ 機種により異なります

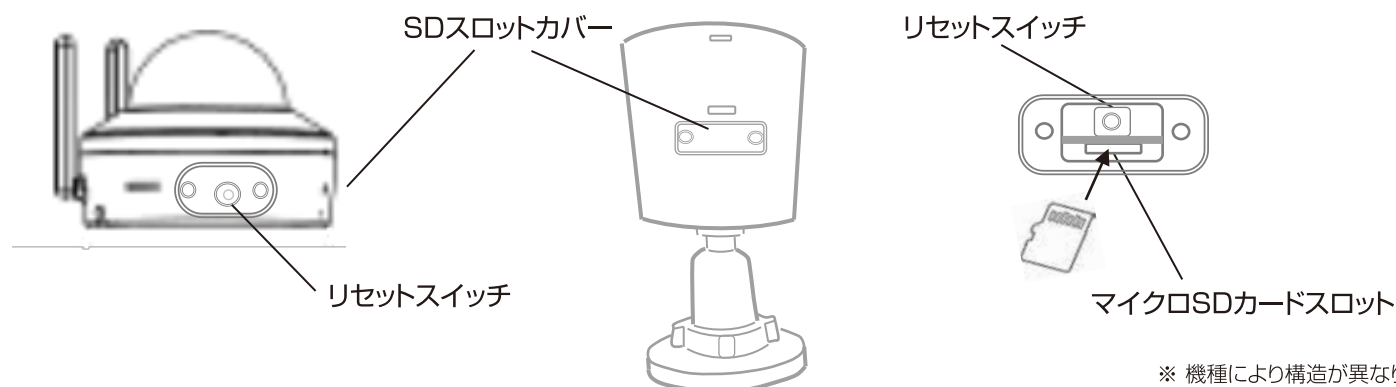
各部の名称



電源端子(φ5.5×2.1mmプラグ)より付属のACアダプタをご使用ください。

マイクロSDカードスロット、リセットボタン

マイクロSDカードスロット及びリセットボタンは、本体のカバーを外した内部に搭載されています。



※ 機種により構造が異なります

設置の方法

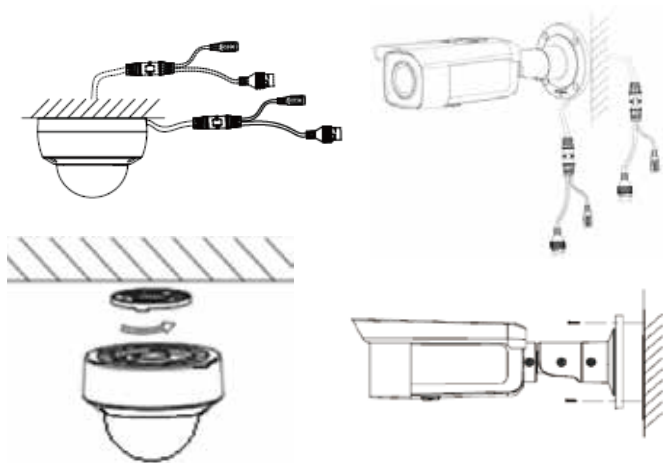
壁面と天井のどちらにでも取り付けできます。

1. 同梱のドリルテンプレート又は、天井取付プレートに従い、ドリルで天井にネジ穴を開けます。

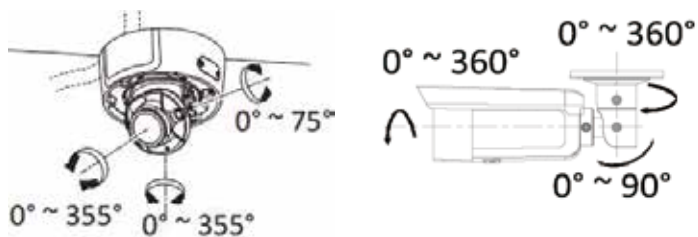


付属のアンカーを使う際は、5.5mmのドリルでネジ穴を開けてください。

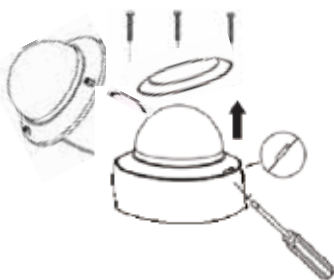
2. ケーブルをケーブル穴または、筐体の逃げ穴に通します。同梱の取付ネジでカメラを設置面に固定します。



3. カメラの映像を確認し、最適な角度に合わせます。

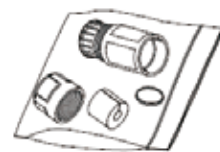


※ 機種により調整角度範囲は異なります。

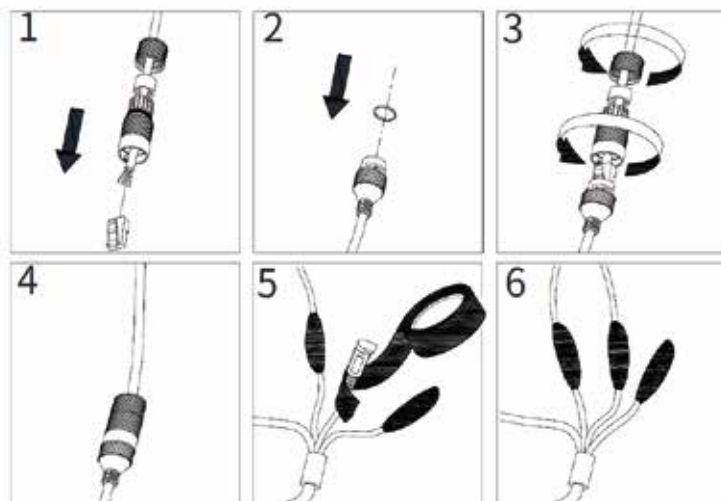


※ドームカバーの外し方
溝穴にマイナスドライバーをいれ、黒いカバーを外します。ビスが3カ所ありますので、ビスを緩めドームカバーを外します。

屋外配線する場合は、付属のLANコネクタ防水キットを使用して、LAN端子の防水対策を施して下さい。



1. 接続するLANケーブルにプラグカバー、防水リング、固定カバーを通します (RJ45端子が通らない場合は、ケーブルを通した後、端子を取り付けて下さい)。
2. カメラのLAN端子側にO-リングを取り付けます。
3. LAN端子を接続の後にプラグカバー、固定カバーを締め付けます。
4. O-リングを挟み、カチッと固定するまで締めます。
5. LAN端子中継部、電源端子、その他接続部を防水テープ等で、しっかりと巻きつけ防水処理をします。



Wi-Fiカメラの接続方法

1. Wi-Fiネットワークレコーダーに直接、接続する

ネットワーク環境がなくてもWi-Fiネットワークレコーダーがあれば、カメラと配線することなく接続できます。
ただし、カメラには電源の配線が必要です。



2. ネットワークの無線LANアクセスポイントに接続する

ネットワーク内の無線アクセスポイントに接続して、有線のIPカメラと同様に使用出来ます。



3. スマートフォンアプリから1対1で接続

無線LAN環境がなくてもスマートフォンがあれば、アプリを通じて、ダイレクトにカメラと接続できます。



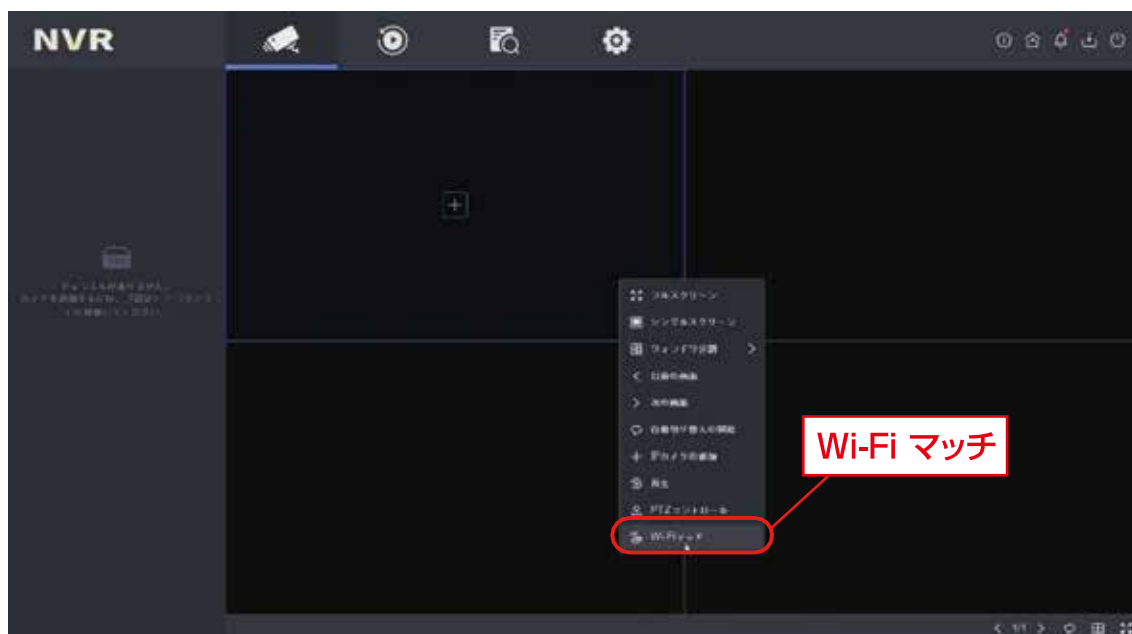
1. Wi-Fiネットワークレコーダーに直接、接続する

カメラが以下の状態にあることを確認して下さい：

- ①カメラが出荷状態であること（出荷状態でない場合、カメラのLEDライトが赤くなるまでリセットボタンを長押ししてください）
- ②出荷状態にしてから、カメラに有線LANを接続していないこと

操作手順：

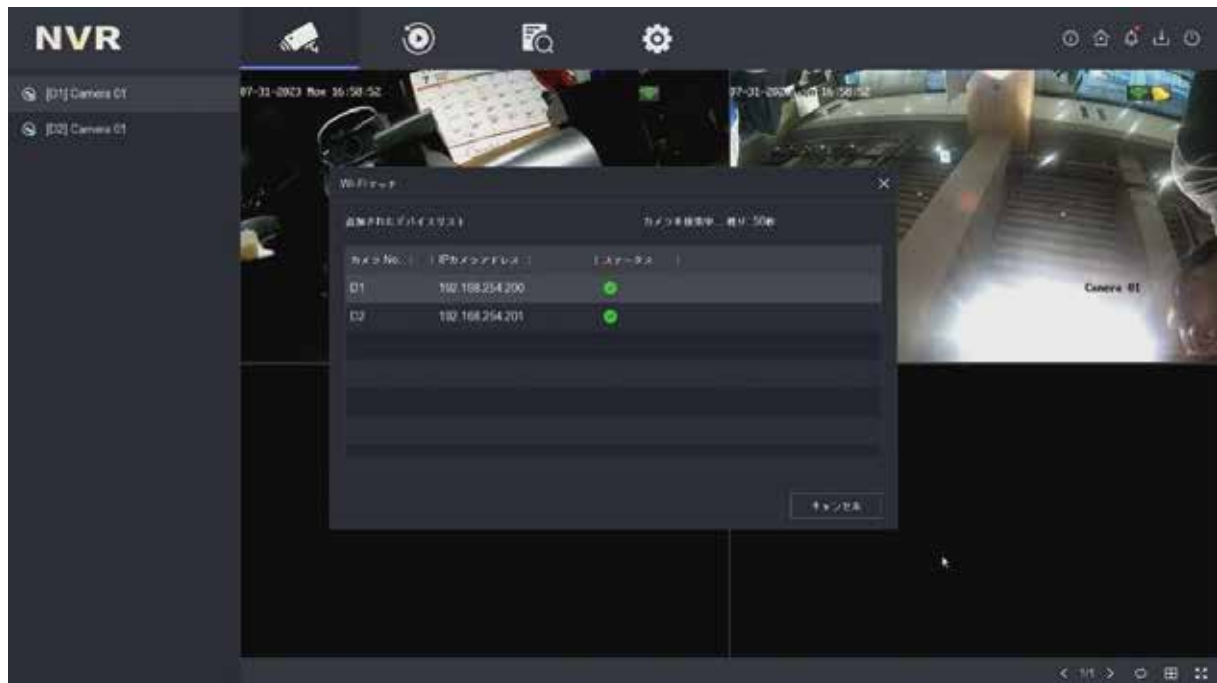
- (1) カメラに有線LANを接続しない状態で、電源を入れて、カメラを起動します。
- (2) カメラのLEDライトが青色の高速点滅になった後に、Wi-Fiレコーダーのライブビュー画面を右クリックをし、「**Wi-Fi マッチ**」をクリックします。



- (3)「**カメラを検索中**」になります。



- (4) しばらく経つと、カメラ側は「**Network Connected**」と音声で確認できます。
それと共にレコーダー側は、接続済みのカメラが一覧に表示され、
カメラの映像もレコーダーに表示されます。これで接続作業は終了です。



2. ネットワークの無線LANアクセスポイントに接続する

一度、有線LANで接続し、カメラのWEBブラウザ画面からネットワークの無線LANアクセスポイントに接続する設定をします。

操作手順：

- (1) カメラを**有線LAN**でパソコンまたは、スイッチングハブと接続した上で、電源を入れてカメラを起動します。
- (2) パソコンにインストール済みの SADP ツールを起動して、一覧から該当カメラを見つけてください。

■SADPツールのインストール

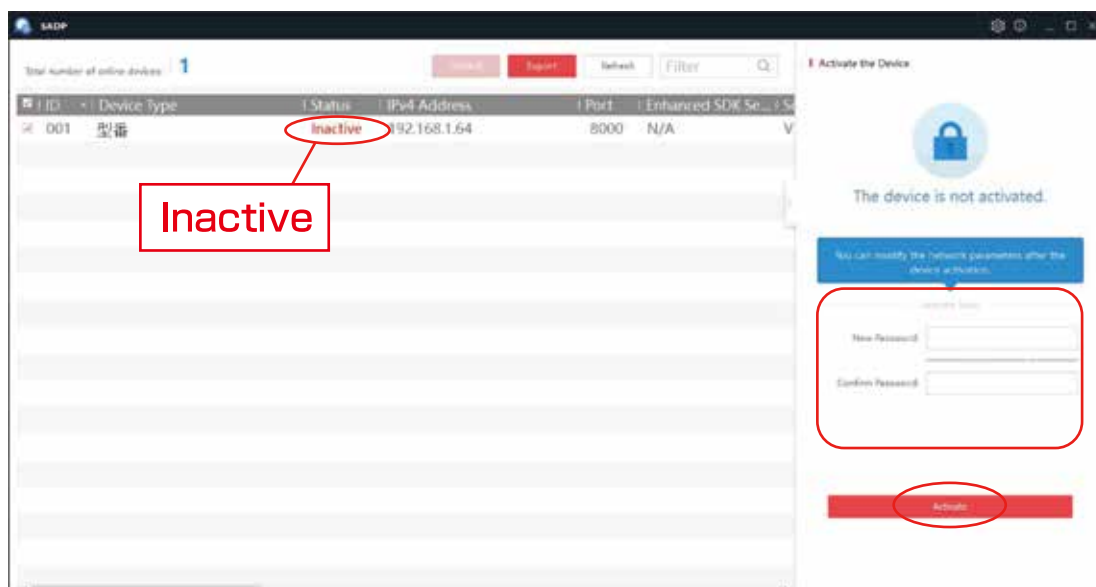
以下のウェブサイトより、ダウンロードし、PCにインストールしてください。

<https://www.hikvision.com/jp/support/tools/hitools/>

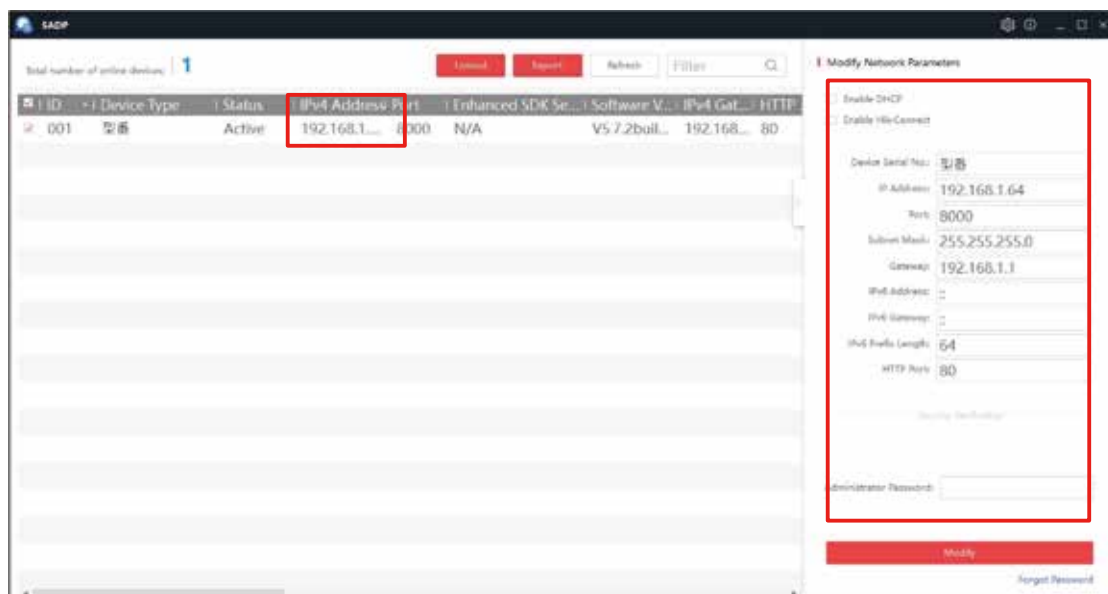
見つからない場合は、“SADPツール”と検索し、ダウンロードしてください。



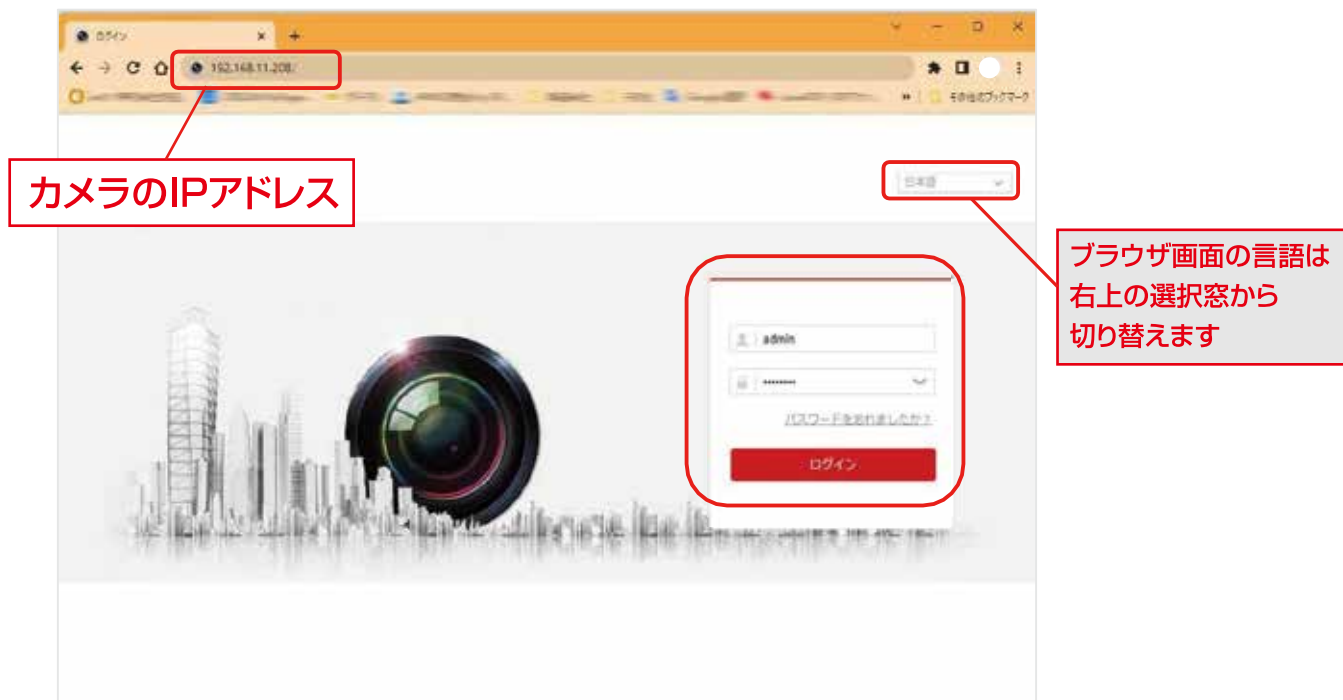
- (3) カメラが「**Inactive**」状態の場合、まずカメラを選択して、パスワードなどの情報を入力した上でカメラをアクティベートします。



- (4) カメラをアクティベートした後に、カメラのIPアドレスがパソコンと同じLANにあることをご確認ください。違う場合、下記のように手動でIPアドレスを修正してください。



- (5) SADPツールのIPアドレスをクリック、または、ウェブブラウザのアドレスバーに**カメラのIPアドレス**を入力して、カメラのウェブ画面にアクセスします。
画面にユーザー名「**admin**」と、**設定したパスワード**を入力して、ウェブ画面に入ります。



- (6)「環境設定→ネットワーク→詳細設定→Wi-Fiタブ」メニューに入り、
Wi-Fiを有効 ☒ にして保存します。

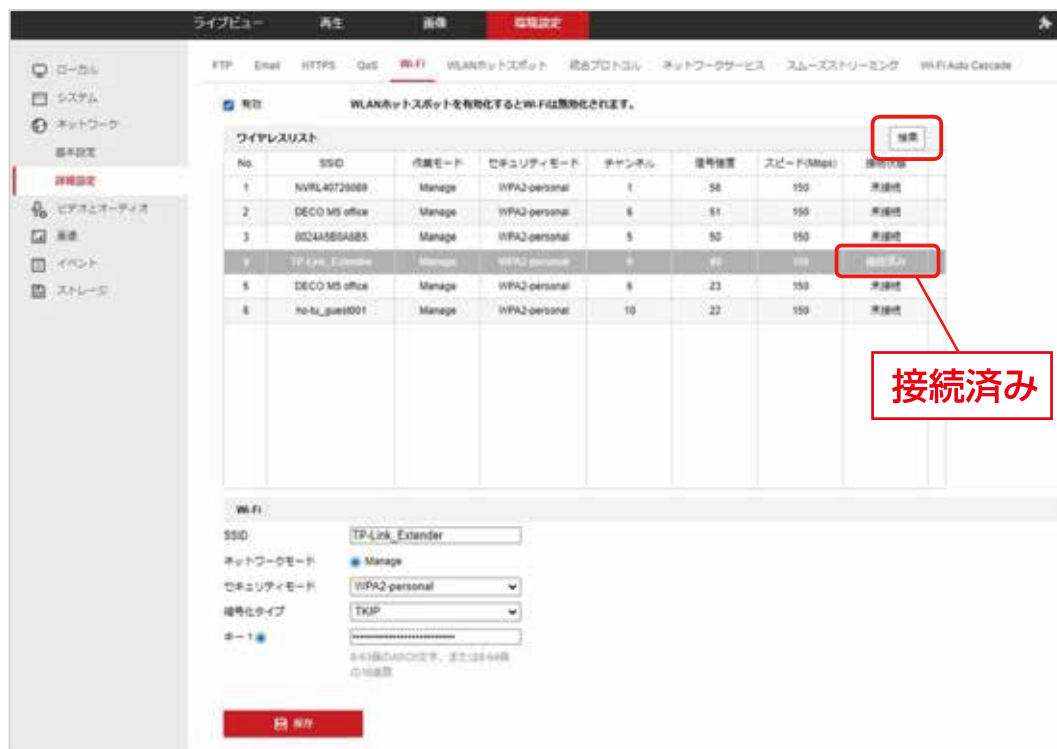


- (7)「検索」をクリックすると、接続可能なWi-Fiスポットが表示されます。
次に、ワイヤレスリストから**接続したいWi-Fiスポット**を選択し、
下にパスワード(キー)を入力して保存します。



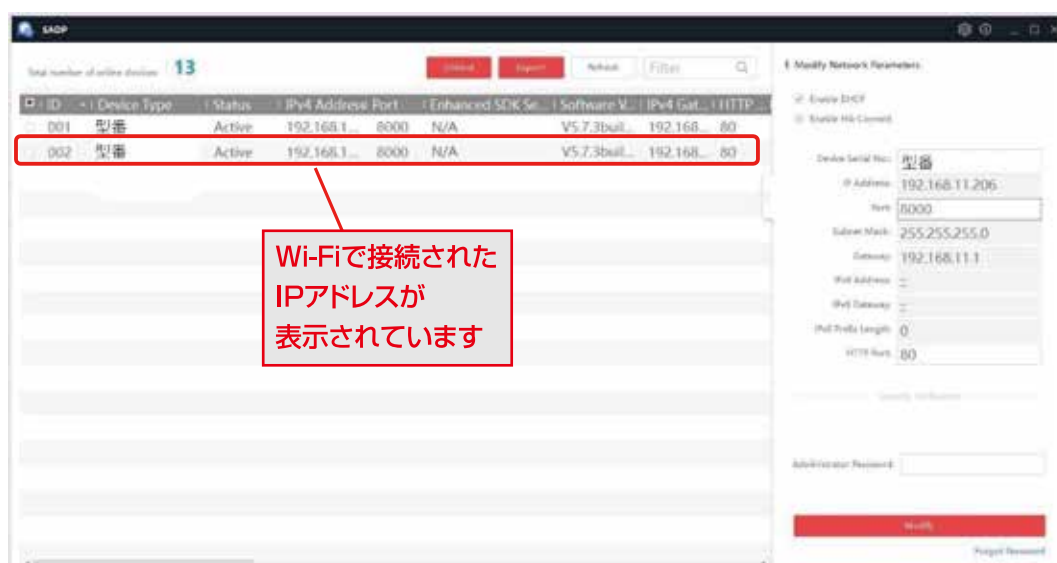
(6) もう一度「検索」して、接続状態をリフレッシュします。

先程選択したWi-Fiスポットの横に「**接続済み**」と表示されたら、成功になります。



(9) SADPツールで見ると、カメラの接続がひとつ増えているのが確認出来ます。

有線LANとは違うIPアドレスでWi-Fiアクセスポイントに接続されていますので、WEBアクセスやレコーダーのオンラインデバイスには、このIPアドレスで接続してください。



3. スマートフォンアプリから1対1で接続

Wi-Fiスポットを経由でカメラと接続することではなく、カメラ自身のWi-Fiスポットを利用してスマートフォンとカメラを1対1で接続します。

操作手順：

(1) スマートフォンに **Guarding Vision** アプリをインストールしてください。

■Guarding Vision アプリのダウンロード

Android は Hikvision App Store ストアから：<https://app-st.net/>
IOS は Apple Store から「Guarding Vision」を検索してください。



(2) カメラに電源を入れて、LED ライトが青色で高速点滅することをご確認ください。
LEDライトの状態が違う場合、カメラにある「Reset」ボタンを長押しして出荷状態に戻してください。

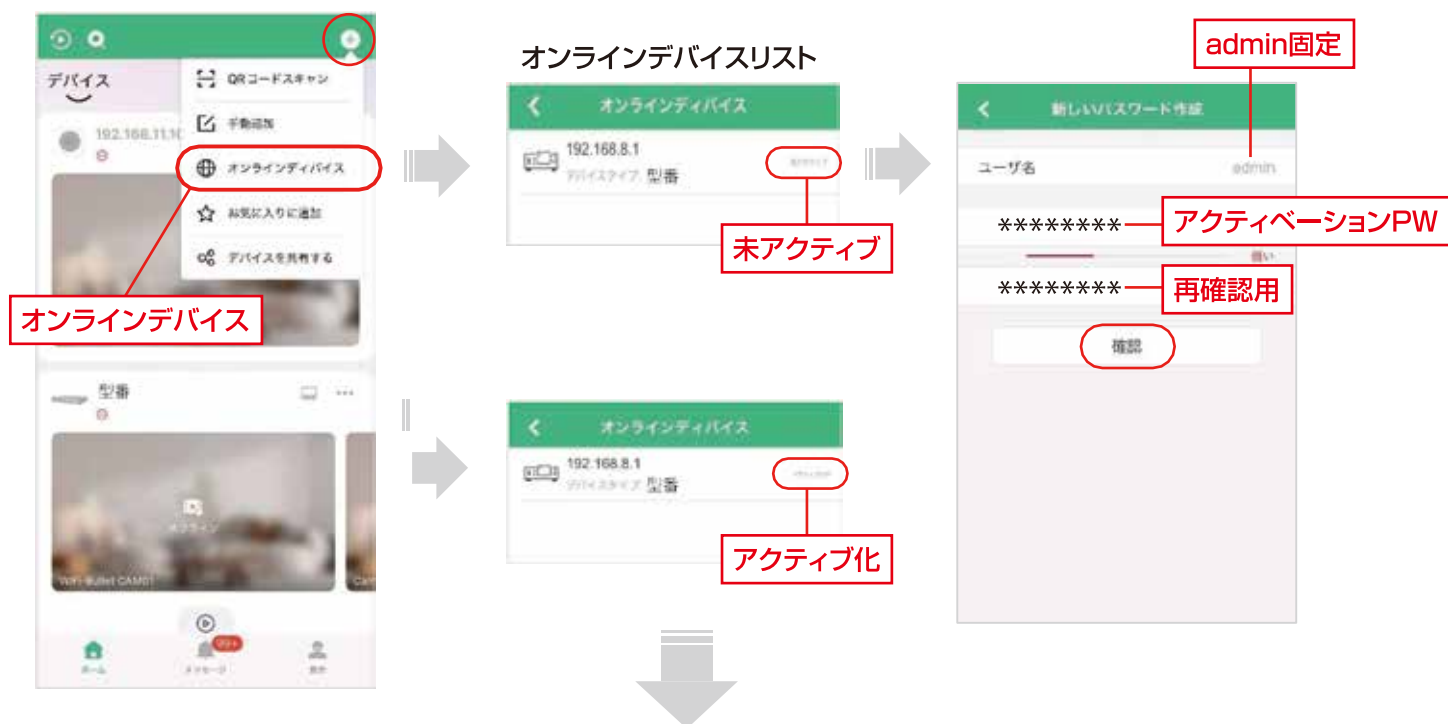
(3) カメラのラベルにある **認証コード** と **シリアル番号** をメモしてください。



- (4) スマートフォンの Wi-Fi をオンにして、
Wi-Fiリストから名前が「HAP_+認証コード」のWi-Fiと接続してください。
パスワードはシリアル番号の最後の8桁の数字になります。



- (5) Guarding Vision アプリを開いて、右上の  メニューから**オンラインデバイス**をクリックすると、Wi-Fi カメラが**オンラインデバイス**リストに表示されますので、リストをタップしてください。Wi-Fi カメラが**未アクティブ**の場合、**新しいパスワード作成**の画面に移行しますので、カメラのアクティベーションパスワードを設定し、**確認** をタップして下さい。



(6) 詳細画面になりますので、**追加** をタップします。

デバイスの追加画面になりますので、ユーザー名とパスワードを入力し、保存をタップします。
オンラインデバイス画面で、**完了** となっているのを確認し、左上の **戻る** をタップします。



(7) デバイス一覧に表示され、画面をタップしたらライブビューなどを確認できます。
これで完了になります。



安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

	一般的な注意事項		一般的な禁止事項		水ぬれ禁止		機器の分解禁止		接触禁止		ぬれ手禁止		指示を守る
--	----------	---	----------	---	-------	---	---------	---	------	---	-------	---	-------

警告 誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があるもの

異常があるときは、すぐに使用をやめる

次のような異常時は、放置せずに電源を切り、販売店・工事店に連絡してください。

- ◇煙がでる、においがする
- ◇内部に水や物が入った
- ◇画面が映らない
- ◇接続ケーブルや外部が劣化

火災、感電、けが、故障の原因となります。

指定の電源電圧で使用する

ACアダプタ電源使用の場合は必ずDC12Vで使用してください。

火災や感電の原因となります。

次の場所に設置しない

- ◇強度の不足する場所、不安定な場所
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- ◇人や車両の通行の妨げになる場所
ぶつかったり、接触してけがや破損の原因となります。
- ◇直射日光の当たる場所、熱器具の付近や高温になる場所、湿気やホコリの多い所
火災や感電、故障の原因となります。
- ◇塩害や腐食性ガスが発生する場所
取付部が劣化し、落下によるけがや事故、故障の原因となります。
- ◇可燃性ガスの雰囲気中
爆発によるけがの原因となります。

指定以外の機器・アクセサリは使用しない

指定品を確かめ、使用機器の取扱説明書もよくお読みください。

性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となります。

結露した状態で使用しない

故障の原因となります。

電源を止め、結露がとれた後に電源供給し直してください。

設置、点検時は次のことに注意する

- ◇設置・配線・点検時は電源を切ってから行なってください。
- 感電やショート・誤配線による火災の原因となります。
- ◇足場と安全を確保し、強風、雨、嵐、雪、霧などの天候が悪い日や暗い所では、危険ですから設置工事や点検をしないでください。
- 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
- ◇本体や部品、工具類を落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- けがや故障の原因となります。
- ◇ケーブル類は正しく配置してください。
- 引っ掛けると落下や転倒によるけがや故障の原因となります。
- ◇組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力(トルク)指定がある場合はその力(トルク)で締め付け、堅固に固定してください。
- 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- ◇台風の後や積雪の後などは、取付装置に緩みや異常が生じることがあります。
- 点検はお買い上げの販売店または工事店にご相談ください。
- そのままにすると破損して、けがや故障の原因となります。
- ◇カメラや取付装置などに乗ったり、無理な力を加えないでください。
- 落ちたりして、破損、けがの原因となります。

無理な力を加えたり傷つけない

接続ケーブルなどを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものをのせたり、加熱したり(熱器具に近づけたり)、引っばったりしないでください。

電源ケーブル、LANケーブルなどが傷んだときは(心線の露出、断線など)お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電などの原因となります。

ぬれた手でさわらない

感電の原因となります。

分解や改造はしない

内部の分解、改造や修理はしないでください。故障の原因となります。

内部の点検・調整・修理は、販売店にご相談ください。

雷が鳴り出したら本機や接続ケーブルに触れない

感電の原因となります。

注意 誤った取り扱いをすると、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの

工事に関しては工事店などに依頼する

工事には技術と経験が必要です。

お買い上げの販売店や工事店にご相談ください。

火災、感電、けが、故障の原因となります。

定期的に点検する

取り付けがゆるんだり、取付装置やネジがさびると、落下による破損、けがの原因となります。